

平成19年度
人権に関する県民意識調査報告書

平成20年3月
愛知県

はじめに

21世紀は、人権の世紀と言われており、国際的にも国内的にも、人権が尊重された社会の実現に向けた取り組みがなされています。

愛知県では、平成9年12月に、差別や偏見のない郷土愛知の実現を目指して一層の努力をしていくことを宣言するとともに、平成13年2月には、「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」を策定し、学校、地域、家庭、職場などの、あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進に取り組んでいるところです。

しかし、人権を取り巻く状況は、児童虐待、高齢者虐待、DV、いじめ、インターネットを使った誹謗中傷や差別事件の発生など、現在でも厳しい状況が続いています。

こうした中で、平成14年度に人権に関する県民の意識状況を把握し、人権施策推進の基礎資料とするため「人権に関する県民意識調査」を実施しました。その後、5年が経過し、時代とともに新たな人権課題等への関心が高まってきていることから、平成19年12月に同様の意識調査を実施し、このたび、その調査結果を本書のとおり取りまとめました。

今回の調査では、あらたに「犯罪被害者の人権」、「インターネットによる人権侵害」、「ホームレスの人権」、「性同一性障害者、性的指向にかかる人権」の項目を追加しております。

本県といたしましては、今回の調査結果で、人権に関する意識の推移と現状を把握するとともに、お寄せいただいた県民の皆様のご意見を、今後の人権教育、啓発に反映させ、人権が尊重され心豊かに暮らせる社会の実現に努めてまいりたいと存じます。

おわりに、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆様には心から厚くお礼申し上げます。

平成20年3月

愛知県県民生活部長 石川 延 幸

目 次

調査の概要	1
1 . 調査の概要	2
2 . 回答者の属性	4
3 . 調査結果の要約	7
調査結果	15
1 . 人権意識	16
2 . 女性の人権	34
3 . 子どもの人権	36
4 . 高齢者の人権	38
5 . 障害者の人権	40
6 . 外国人の人権	42
7 . エイズ患者・H I V (エイズウイルス) 感染者、ハンセン病患者・元患者の人権	46
8 . 犯罪被害者の人権	52
9 . インターネットによる人権侵害	54
1 0 . ホームレスの人権	61
1 1 . 性同一性障害者、性的指向にかかる人権	62
1 2 . 家柄・血筋	64
1 3 . 同和問題の認識	72
1 4 . 同和地区出身者に対する意識	79
1 5 . 同和問題解決のための対応	83
1 6 . 人権尊重の取り組み	86
1 7 . 啓発活動への参加、認知	88
1 8 . 内容別自由回答の意見数	91
調査票	93